

夜間中学とは

夜間中学は、いろいろな理由で小中学校へ行くことができなかった方が「学び」を取り戻す所です。夜間中学には公立の夜間中学と自主夜間中学があります。どちらの夜間中学も日本人だけでなく、いろいろな国にルーツのある人が学んでいます。また生徒さんの年齢層は幅広く、最近では若い人も増えてきています。奈良県内の6校の夜間中学は、見学が可能です。興味を持たれた方は、事前に、各中学校へ連絡をしてくから、見学に来てください。

公立の夜間中学について

奈良県内の公立夜間中学は、奈良市立春日中学校夜間学級・天理市立北中学校夜間学級・橿原市立畝傍中学校夜間学級の3校です。日々の学習では、できるだけ生徒さんのニーズに合わせた形で、学年に関係なく小さなグループに分けて授業をしています。公立夜間中学には学齢期（15歳まで）の人の入学はできませんが、中学校を卒業されていない人はもちろんのこと、中学校を卒業したけれども不登校などで、ほとんど勉強できなかった人も入学することが可能です。春日中学校夜間学級では、全国的に珍しく夜の部とともに昼の部の授業も行っています。



自主夜間中学の学習の様子

奈良県内の夜間中学

自主夜間中学について

奈良県内の自主夜間中学は、吉野自主夜間中学・西和自主夜間中学・宇陀自主夜間中学の3校です。日本人だけでなく、いろいろな国・立場の人が、生活に必要な日本語の会話や読み書きを勉強しています。また学齢期の子どもたちが高校受験のための勉強や、昼間の小学校や中学校の宿題など、それぞれ目的を持って学んでいます。自主夜間中学の先生はすべてボランティアの方です。生徒さんは先生と1対1で学習しています。自主夜間中学では学齢期（15歳まで）の人や、外国からの実習生の方が多く勉強しているのも特徴です。

奈良県内の夜間中学の活動について

奈良県内の夜間中学の特徴は、全6校間で常に連携を取って活動をしていることです。それぞれの夜間中学では、日々の学習とともに学校行事や生徒会活動を行って、他の学校と合同で活動することもあります。また、奈良県夜間中学研究集会を開いて、生徒さん自身の日々の取組を基にした作文発表や先生方、支援団体の皆さんによる話し合いも実施しています。そのほか教育環境をよくすること、6校間の交流を深めることを目的として、月に1回、定期的に奈良県夜間中学連絡協議会を行っています。

奈良県夜間中学連絡協議会

奈良県夜間中学連絡協議会は、奈良県内の夜間中学6校とそれぞれの学校の支援団体の代表で構成されています。

(各夜間中学の連絡先は、5ページに掲載しています。)